

令和4年度第三セクター経営評価結果及び対応について

公益財団法人青森学術文化振興財団

1 令和4年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価 (法人)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第二次評価 (所管部局)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好

すべての項目において「概ね良好」という結果となっている。

※参考 令和3年度決算

- 当期損益 △343千円 累積損益 286,175千円
- 市からの収入 なし

2 第三セクターの対応

◆経営戦略プラン(R4～R6)の取組と計画

令和3年度に策定した経営戦略プラン（計画期間：令和4年度～令和6年度）に基づき、設立目的達成に向けた取組を継続していく。

○具体的取組

- ①大学等の地域還元への支援の継続実施
- ②安全性の高い資産運用による経営安定
- ③職員の資質向上及び法人内部の知識蓄積

○財務計画:収支相償が求められているため、基本的に当期損益は0円が目標

【取組状況】

令和4年度については、経営戦略プラン及び市の指導を踏まえ、助成制度の追加など、事業内容の見直しを行いながら、大学等による地域還元への支援を行うとともに、資産運用による事業費の確保により、安定的な経営に努めている。

令和5年度以降についても、資産運用による安定・継続した事業費・運営費を確保しながら、効率的・効果的な事業実施に努めていく。

3 市の対応

財団が実施する助成事業については、ポストコロナに向けて事業内容を見直すこと、懸賞論文事業については、応募テーマの見直しや周知先を増やし、応募しやすい環境を構築することを指導している。

また、資産運用収入の範囲内で事業を実施している財団であることから、今後も計画的な資産運用による健全経営の継続と、効率的・効果的な事業実施を促していく。